



14 【主】は私に言われた。「あの預言者たちは、わたしの名によって偽りを預言している。わたしは彼らを遣わしたこともなく、彼らに命じたこともなく、語ったこともない。彼らは、偽りの幻と、空しい占いと、自分の心の幻想を、あなたがたに預言しているのだ。」

15 それゆえ、わたしの名によって預言はするが、わたしが遣わしたのではない預言者たち、『剣や飢饉がこの地に起こらない』と言っているこの預言者たちについて、【主】はこう言う。

『剣と飢饉によって、その預言者たちは滅び失せる。』

16 彼らの預言を聞いた民も、飢饉と剣によってエルサレムの道端に放り出され、彼らを葬る者もない。彼らも、その妻も、息子、娘もそのようになる。わたしは、彼らの上に彼ら自身の悪を注ぎかける。

17 あなたは彼らに、このことばを言え。『私の目は、夜も昼も涙を流して止まることのないように。おとめである娘、私の民の打たれた傷は大きく、それは癒やしがたい、ひどい打ち傷。』

18 野に出ると、見よ、剣で刺し殺された者たち。町に入ると、見よ、飢えて病む者たち。まことに、預言者も祭司も、地を歩き巡って、仕事に精を出し、何も知らない。』

【ヨハネの手紙第一】

1:9 もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくれます。

* 特に断りがない限り、新改訳2017より使用

コラム：「金剛石」とは？

①「金剛石」は、一般的にはダイヤモンドと理解される。

② KJV「diamond」「adamant」は出28:18、～ゼカ7:12まで約6回使用。

* 原語も、日本語訳も箇所により訳が異なる。「縞めのう」「青玉」「金剛石」など

③ ダイヤモンドの「宝石的価値」が認識されるのは、カット技術が確立される中世以後。

④「硬さ」という点ですすでに評価され、紀元前から取引対象であった。

⑤ ギリシャ語では「アダマント」 ※「鉄鋼」を指すという説もある。

* オランダ語「ギヤマン」(ガラス細工を指す)は、「アダマント」から派生した。

「エレミヤの執りなし①」

| エレミヤ書講解-35 エレミヤ書14:7-18 他 小野寺望 牧師

【エレミヤ書 14章】

7 「私たちの咎が、私たちに不利な証言をしても、【主】よ、あなたの御名のために事をなしてください。まことに私たちの背信は大きく、私たちはあなたの御前で罪の中にいます。

8 イスラエルの望みである方、苦難の時の救い主よ。どうしてあなたは、この地にいる寄留者や、一晩だけ立ち寄る旅人のようにされるのですか。

9 なぜ、あなたは驚いているだけの人や、人を救えない勇士のようにされるのですか。【主】よ、あなたは私たちのただ中におられ、私たちはあなたの御名をもって呼ばれているのです。私たちを置き去りにしないでください。」

10 この民について、主はこう言われる。「このように、彼らはさまようことを愛し、その足を制することもしない。そのため、主は彼らを受け入れず、今、彼らの咎を覚えて、その罪を罰する。」

11 【主】は私に言われた。「この民のために幸いを祈ってはならない。12 彼らが断食しても、わたしは彼らの叫びを聞かない。全焼のささげ物や穀物のささげ物を献げて、わたしはそれを受け入れない。かえて、剣と飢饉と疫病で、彼らを絶ち滅ぼす。」

13 私は言った。「ああ、【神】、主よ。ご覧ください。預言者たちは、『あなたがたは剣を見ず、飢饉もあなたがたに起こらない。かえて、わたしはこの場所で、まことの平安をあなたがたに与える』と人々に言っているではありませんか。」 (4ページへ続く)

◆ はじめに

| 大統領選挙の結果を受けて：決まった結果と報いは受けなければならない。

1. 霊的指導者の責務と個人々の自己責任

①指導者の権威と責任は大きい。 ②従う人々の無知は言い訳にならない。

2. 14章のアウトライン

②7-18節 エレミヤの執りなし(第1・第2の祈り)

③19節-5章4節 第3の祈りと神のことは

◆ メッセージのアウトライン紹介とゴール

| 霊的自己責任とキリストの恵み

*このメッセージは、人類の霊的責任とキリストの恵みについて学ぶものである。

=====

I エレミヤの執りなし①(7~12節)

1. 罪人の身代わりとなる祈り(7~9節)

(1) 身代わりに罪を告白するエレミヤ

- ①罪を告白し、悔い改めることで、神は救いを用意して下さる。
- ②預言者として、民の罪を代表して告白し、赦しを求める。
- ③イスラエルの民の罪を負った、身代わりの祈りである。

(2) 神への呼びかけ

- ①「イスラエルの望みである方」「苦難の時の救い主」
- ②なぜ寄留者や旅人・・・のように扱い、気に留めてくださらないのか。
*つまり、異邦人のように取り扱うのかという意味(「国」5:9)
- ③「御名をもって呼ばれた民」「置き去りにしないで」
*つまりイスラエルと神の親密な関係に言及し、懇願する。



2. 神の応答(10~12節)

(1) 祈ってはならない：①執りなしの祈りの拒否である。

②7章でも同様のやり取りがあった。

*「天の女王」(偶像)を礼拝する民への執りなしが禁じられた。

(2) 民はその足を止めず、多くの偶像を渡り歩いた。

- ①多くの男を渡り歩く不品行な女に例えられた(2章)
- ②神は彼らの祈りも、宗教的儀式も拒否する。(エレ6:20)
- ③その罪は容易に消えない(精錬しきれないカスだらけの銀 6:29-30)
*17章では、鉄の筆と金剛石で刻まれたように消えない。

(3) 偽りの悔い改めに対して、苦しみを与える。

①日照りに続き、「剣」と「飢饉」と「疫病」が襲う。※繰り返されるさばきの表現

II エレミヤの執りなし②(13~18節)

1. 民の無知に同情を求める祈り(13節)

(1) 偽預言者たちが悪い

①民に偽りの平安を説いている。(エレ6:14、8:11)

*民の傷を手軽に癒そうとし、心地良いことだけを語る。

*預言者や祭司たちが、無知な民に迎合した。

(2) さばきは偽預言者たちに限定して欲しい。

2. 神の応答(14~18節)

(1) 偽預言者たちは権威：神はそんな預言者を遣わしてはいないと宣言する。

(2) 罰について：①神はそのような偽預言者をまず罰する。

②しかし、従った人々もさばきを免れることはない。(申13章)

*霊的分野に関する自己責任の原則

民には真の預言者と偽りの預言者を見極める責任がある。

(3) 涙が止むことがないように・・・やや難解な箇所である。

①「預言者も祭司も、地を歩き巡って、仕事に精を出し、何も知らない。」

②恐らく、神のみこころを知る者たち(祭司や預言者)でさえ、土地をさまよひ、人々の苦しみを前にして、何をすれば良いか分からない様子？

◆ まとめ：霊的自己責任とキリストの恵み

1. 執りなしの祈りのまとめ

(1) 契約の民と神との親密さに訴える。 (2) 民の無知への同情を請う

〈次回〉(3) 契約関係：約束を守らなければ栄光に傷がつく。

(4) 執りなしの成功例(15:1)：モーセ(出32:11~14)とサムエル(1サム7:5~9)

2. 霊的自己責任とキリストの恵み

(1) 霊的判断の自己責任：「親の罪の報いは子が受ける」こととの調和

①親が酸いぶどうを食し、子の歯が浮く(エレ31:29など)

②十戒(出20:5)の真意：個人に対する信仰の自己責任は変わらない。

(2) イエス・キリストの贖いの祈り

①罪の解決(救いの土台にあるものは、キリストの十字架)

②「聖霊」という恵み(新しい律法と遵守するために必要な力の付与)

③福音を受け取れ：各人が死後、霊的責任を問われる。無知は言い訳にならない。

(3) 多くを受ける者は多く期待される：契約の民への二倍の報復(イザ40:1~)

①キリスト者への霊的恵みに感謝し、聖霊に燃やされ世に出てゆこう。

②千年王国で求めただけ与えられる「後の雨」※との共通点。※第一義はイスラエルへの祝福